

2020
8
No.191



パラオ研修生のケネリーさん(右)とシェナさん(左)が願いを込めた短冊



「七夕フェス」(道の駅常陸大宮かわプラザ)にて、茨城県立常陸大宮高等学校(商業科 HIOKO ホールディングス株式会社)の皆さんとの1枚(関連記事 P17)

Hitachiomiya SNS



主な内容

- P2 ~ 3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
- P4 ~ 5 国勢調査2020
- P6 ~ 7 新指定文化財紹介
- P11 空き家バンク制度をご存じですか?
- P14 ~ 15 東京2020オリパラ競技大会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

本市では、地方創生臨時交付金を活用した、新型コロナウイルス感染症対策を進めています。

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、地方における地域経済や住民生活への様々な対応・取組を全力で支援するため、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう創設されました。



NO	所管部局	事業(取組)名称	事業費	事業概要 (目的、内容等)	所管課
1	市民生活部	避難所における感染症対策事業	1,773万6千円	目的：避難所における衛生環境を保ち、3密を解消することで、新型コロナウイルス等の感染リスクを軽減する。 内容：避難所用の間仕切り、段ボールベッド等の購入	安全まちづくり推進課
2	保健福祉部	放課後児童クラブインターネット環境整備事業	213万円	目的：外部との接触を減らし、感染拡大防止を図る。緊急時や至急の連絡など、迅速な連絡体制の確保。 内容：インターネット環境の整備	こども課
3	保健福祉部	新生児特別臨時給付事業	1,655万7千円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が見込まれることから、出産後の生活支援として、国が実施する「特別定額給付金」の対象とならない新生児に対して、新生児特別臨時給付金を支給する。 内容：新型コロナウイルス感染症対策の特別臨時給付金を令和2年4月28日から令和3年4月1日までの出生者を対象として給付。1人100,000円	こども課
4	保健福祉部	高齢者生活支援事業	2,847万1千円	目的：コロナ禍における75歳以上の高齢者生活支援のため、商工会で発行する常陸大宮商品券を配付し、併せて市内商店で利用してもらうことで購買・消費増を図り、低迷している商業の活性化に資する。 内容：商工会商品券の購入 商品券1人3,000円	長寿福祉課
5	産業観光部	緒川物産センターかざぐるま食堂改修事業	390万5千円	目的：従業員の感染防止策として、食堂をセルフサービス化し極力来店者との接触を避ける。 内容：セルフサービスシステムへの施設及び設備改修	農林振興課
6	産業観光部	宿泊事業者支援事業	1,470万円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが減少した事業者の事業継続等を目的に、旅館・ホテルなど宿泊施設を支援する。 内容：宿泊施設への支援金 200,000円(宿泊数20人未満) 500,000円(宿泊数20から50人未満) 1,000,000円(宿泊数50から100人未満) 1,500,000円(宿泊数100人超)	商工観光課
7	産業観光部	観光バス事業者支援事業	570万円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが減少した事業者の事業継続等を目的に、観光バス事業者を支援する。 内容：市内に営業所を置く観光バス事業者への支援金 【事業者割】 500,000円 【台数割】 1台100,000円	商工観光課

NO	所管部局	事業(取組)名称	事業費	事業概要 (目的、内容等)	所管課
8	産業観光部	観光バス利用促進事業	400万円	目的：観光バスの利用を促進する。 内容：市内の観光バスを利用した場合、利用料金の一部を助成	商工観光課
9	産業観光部	タクシー事業者支援事業	105万円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した事業者の事業継続等を目的に、タクシー事業者を支援する。 内容：市内に営業所を置くタクシー事業者への支援金 1台50,000円	商工観光課
10	産業観光部	飲食事業者支援事業	3,000万円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した事業者の事業継続等を目的に、飲食店を支援する。 内容：市内の飲食店への支援金	商工観光課
11	産業観光部	飲食店利用促進事業	9,014万1千円	目的：飲食店の利用を促進する。 内容：飲食券を市民へ送付し、市内飲食店で利用してもらう。1人2,000円	商工観光課
12	産業観光部	観光誘客促進事業	200万円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少した市内観光施設に誘客を図る。 内容：新聞広告掲載	商工観光課
13	産業観光部	茨城県北観光誘客促進事業(県北6市町合同)	22万円	目的：県北6市町の観光誘客を図る。 内容：新聞広告掲載	商工観光課
14	産業観光部	温泉・温浴施設利用促進事業	2,352万円	目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少した温泉・温浴施設の利用を促進する。 内容：市内の温泉・温浴施設を利用した場合、利用料の一部を助成	商工観光課
15	産業観光部	農産物直売子育て世帯応援事業	1,117万3千円	目的：直売所等の出荷者支援。子育て世帯の家計支援。 内容：各直売所において農産物等の購入が可能な商品券を市内の子育て世帯に配付する。 ※18歳以下高校3年生までの子供がいる世帯	農林振興課
16	産業観光部	ゴルフ場利用促進事業	2,000万円	目的：ゴルフ場の利用を促進する。 内容：市内ゴルフ場にクーポン券を配布し、誘客を図る。1枚2,000円	商工観光課
17	教育委員会	小中学校情報周辺機器整備事業	7,959万6千円	目的：GIGAスクール構想の加速による児童生徒の学びを保障できる環境の整備を図る。 内容：学校再開に伴う学習活動の充実を図るため、大型提示装置等の周辺機器について整備する。	学校教育課
18	教育委員会	小中学校情報端末整備事業	2億8,454万9千円	目的：GIGAスクール構想の加速による児童生徒の学びを保障できる環境の整備を図る。 内容：児童生徒1人1台PC端末の整備等	学校教育課
19	教育委員会	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等支援事業	1,649万円	目的：感染症対策を徹底しながら、児童生徒の学習保障等の学校教育活動の再開を支援する。 内容：学校における感染症対策等物品の購入、学習教材等の購入等	学校教育課
20	消防本部	患者搬送資機材整備事業	269万5千円	目的：患者搬送時に感染症患者搬送用器具に患者を収容することにより、飛沫等を外部に漏らすことなく搬送でき、救急隊及び市民への感染防止を図る。 内容：感染症患者搬送用器具購入	警防課
21	消防本部	講習会等感染症対策事業	110万9千円	目的：講習会等における飛沫感染を予防することで、感染リスクの軽減。 内容：ディスク用間仕切り(サイドパネル付)	総務課 (消防本部)

国勢調査2020

令和2年国勢調査を実施します

国勢調査は、わが国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる国の最も重要な統計調査です。日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象として5年ごとに行われます。10月1日現在、日本国内にふだん住んでいるすべての人を、ふだん住んでいる場所で調査を行うため、外国人も対象となります。

国勢調査の結果は、日本の未来を描くうえで重要な基礎資料となり、幅広い分野で活用されます。

【調査の期間】

調査期間は9月上旬から10月下旬

【調査内容】

氏名・性別・続柄・生年月日・国籍・配偶者の有無・居住期間・過去の居住地・教育・職業の有無・勤務内容など16項目

【調査対象】

令和2年10月1日現在、日本国内にふだん住んでいる人すべての人（外国人を含む）及び世帯を対象とします。

【調査方法】

調査員が各戸を訪問し世帯主の氏名・世帯構成を聞き取り、調査票をお配りします。

今回は、インターフォン越しの聞き取りや調査票を郵便受けやドアポストに投函する場合があります。

【回答方法】

インターネット回答・郵送回答・調査員への提出から選ぶことができます。

結果はこのようなところで活用されます

- 衆議院議員選挙区の改定における利用
- 地方交付税の算定基準
- 市、指定都市等の設置要件
- 都市計画の策定
- 過疎地域の要件
- 無人航空機の飛行許可が必要となる空域の要件
- 行政施策への利用
 - ・ 少子高齢社会に対応した政策のために
 - ・ 経済政策の策定のために
 - ・ 住みよい街づくりのために
 - ・ 防災計画の策定のために
 - ・ 現在人口や将来人口の推計、人口分析など学術研究での利用



みらいちゃん

新型コロナウイルス感染拡大防止のため可能な限り インターネット回答または郵送回答をお願いします！



インターネット回答の利点

- 期間中は、24時間いつでもお好きな時間にスマートフォン、タブレット及びパソコンから回答できます。
- 紙の調査票の提出が不要となるため、調査員が回収に伺うことはありません。
- 国に直接回答が送信されるため、回答内容が見られることはありません。

インターネットによる回答は9月14日（月）～10月7日（水）まで

調査についてのお問い合わせは

【国勢調査コールセンター】

0570-07-2020 IP電話の場合：03-6636-9607

設置期間：10月31日（土）まで（土日・祝日もご利用できます）

受付時間：午前8時～午後9時

詳しくはウェブサイトで

おかけ間違いのないようご注意ください



国勢調査2020

検索

ここからアクセスできます

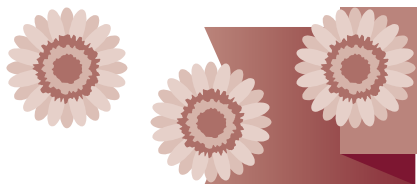
国勢調査をよそおった詐欺や不審な調査にご注意ください

- 国勢調査では、金銭を要求することはありません。また、銀行口座の暗証番号やクレジットカード番号をお聞きすることはありません。
- 国勢調査をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メール・ウェブサイトなどにご注意ください。不審に思った際には、回答をしないで、常陸大宮市役所にお知らせください。
- 統計調査員は、その身分を証明する「調査員証」を携帯しています。

みなさまのご協力をお願いします



■問い合わせ■ 総務課情報・統計グループ ☎52 - 1111（内線320）



令和2年度新規指定

教育委員会では貴重な文化財を保存し、また活用などを図ることを目的として、文化財の指定を行っています。7月6日、新たに4件を市の文化財として指定しましたので紹介します。

なお、今回指定された文化財は、11月頃に歴史民俗資料館大宮館で公開する予定です。



▲ナウマンゾウ臼歯化石（左上顎）

《ナウマンゾウ臼歯化石（左上顎）》

ナウマンゾウの左上の臼歯（奥歯）の化石です。ナウマンゾウは、日本に生息していたゾウの一種で、今から約65万年～42万年前頃に出現したと言われています。この化石は戦後、西塩子地区の所貫谷津の道路工事中に偶然発見されたものであり、重さは1.65kg、最大幅8.5cm、県北地域では唯一の確認事例です。また、産出地層の年代から推測する限り県内最古の可能性ががあります。



▲銅板製十一面観音懸仏

《銅板製十一面観音懸仏》

桧山地区の青山同姓の氏神として祀られているものです。地元では、「鍋蓋観音」と呼ばれて観音堂に安置され、安産の神様として子供を授かったときや、無事に出産したときにお参りしていたそうです。懸仏とは、銅など金属製の円板に鑄造した仏像を取り付けたり、仏像を打ち出したり、線刻したりしたものです。本資料は、直径33.5cm、重さは0.75kg材質は銅製で鏡板と本体は別製、本体は打ち出しで、制作年代は室町時代と思われます。

県北地域での懸仏の残存数は数少なく、市内でも貴重な確認事例であります。



文化財に指定されました



▲木造狛犬

《木造狛犬 1対》

甲神社に伝わる木造狛犬です。阿形と吽形の1対で、阿形は高さ46.3cm、幅22.8cm、吽形は高さ47.2cm、幅23.2cmです。ともに後頭部で前後二材を接合して作られており、現在は素地ですが、もとは朱や墨で彩色されていた痕跡があります。狛犬は一般的に頭に角がある「狛犬」と、角がない「獅子」とが1対になる例が多いのですが、本像はともに角のない獅子形となっています。

加えて、阿形は巻き毛、吽形はバナナの房のような直毛のたてがみをもち、背中には筋骨の浮き出た様子が彫刻されています。また、顔は体に対して正面を向き、江戸時代以後に制作される頭をねじって横を向く狛犬との相違が感じられます。

このような特徴から、本像は室町時代の制作と考えられ、佐竹義昭が弘治3年（1557）に同社に奉納した奉加帳に関わる社殿再建時に納められた可能性も指摘されています。

《銅製華鬘 2枚》

国長の阿弥陀院に伝わる華鬘です。華鬘とは、仏堂の長押などにかけて空間を装飾する荘厳具です。中央に銘文が刻まれており、室町時代後半の永禄12年（1569）と元亀4年（1573）に奉納されたものであることや奉納主の名「東善寺俊長」を確認することができます。

Aは直径23.4cm、Bは23.3cmで、ともに銅板を透かし彫りにして、蓮の花と総角（紐の結び方の一種）を表現し、繊細な線刻を施しています。上部には吊り下げのための鑲がつき、Bの下部には垂飾を取りつけたと思われる穴が5ヶ所あります（垂飾は欠失）。中世にさかのぼる工芸品の中でも制作年代のわかる基準作として貴重な作例です。

（銅製華鬘刻銘）
A【永禄12年】
為逆修善根蓼沼號
東善寺法印俊長
永禄十二年今月今日
B【元亀4年】
権大僧都法印俊長
為逆修善根奉造立東善寺
元亀四癸酉今月日



▲華鬘 B



▲華鬘 A

■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）



9月1日は「防災の日」



1 防災の日とは？

1923年（大正12年）9月1日に関東大震災が発生しました。膨大な数にのぼる死者・行方不明者が出たこの地震を教訓に、災害への心構えを忘れないように防災の日が制定されました。

2 防災週間

防災の日から1週間は防災週間として、防災訓練など防災に関する各種行事が全国的に実施されます。

3 普段からの備え

災害はいつ起こるか分かりません。家族などが一緒にいる時はもちろん、職場や外出先で起こったらどうするかなど、普段からきちんと話し合っておくことが大切です。また、家族同士の安否確認や地域の避難場所の確認、非常袋の点検・置き場所など、家族の誰もが把握しているようにしましょう。特に子供には、いざというときの行動をきちんと説明しておきましょう。



4 備えておきたいアイテムリスト

電気や道路などのライフラインが途絶えたとき、復旧するのに要する期間は3日間といわれています。そのため最低限3日分の防災非常食や水を備蓄しておく必要があります。



・非常食

保存期間が2～5年と長く、火を通さなくても食べられるもの

缶入りパン、栄養補助食品、クラッカー、ビスケット、レトルト食品、アルファ米など

・飲料水

1人あたり1日3リットルが目安です

家族3人の場合

3人×3リットル×3日分→2リットルペットボトル12～18本用意しましょう

・医療品

三角巾、包帯、ガーゼ、脱脂綿、ばんそうこう、はさみ、ピンセット、消毒薬、常備薬など
持病のある方は、その病気のための薬が必要です。



- ・衣料

重ね着の出来る衣類、防寒具、毛布、下着類、靴下、軍手、雨具など

- ・生活用品

寝袋、タオル、生理用品、筆記用具、ティッシュ、ウェットティッシュ、ビニール袋、食器類、ライト、携帯用トイレ、ラジオなど

- ・貴重品

現金、身分証明書、預貯金通帳、印鑑、各種カード、保険証など

- ・役に立つもの

布粘着テープ、ラップ、梱包用ひも、風呂敷、ダンボールなど

近年では多様な防災セットが販売されていますので、複数購入して備えておくのもひとつの方法です。



5 災害時の安否確認

職場や外出先で災害が発生した場合、家族などとの安否確認手段の確保が必要となります。むやみに移動したりせず、安全を確認した上で、安心して職場や外出先に留まれるよう、あらかじめ家族などと話し合っ、複数の連絡手段を確保しましょう。

- ・災害用伝言ダイヤル（171）

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に、NTT東日本により提供される声の伝言板です。



QRコードはこちら

- ・災害用伝言板（web171）

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

災害用伝言板（web171）は、インターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。



QRコードはこちら

- ・NTTドコモ 災害用安否確認

<https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>

NTTドコモが提供している、災害用伝言板・災害用音声お届けサービスです。



QRコードはこちら

- ・au災害用伝言板サービス

<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>

KDDI・沖縄セルラーが提供している、災害用伝言板サービスです。



QRコードはこちら

- ・ソフトバンク 災害用伝言板／災害用音声お届けサービス

<https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

ソフトバンクが提供している、「災害用伝言板」、「災害用音声お届けサービス」です。



QRコードはこちら

- ・ワイモバイル 災害用伝言板サービス

<https://www.ymobile.jp/service/dengon/>

ワイモバイルが提供している、災害用伝言板サービスです。



QRコードはこちら

体験利用日

いざという時に、あわてずに災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの災害用安否確認ツールを使用できるように事前に体験してみることが大切です。

- ・毎月1日および15日
- ・防災週間（8月30日から9月5日）
- ・防災とボランティア週間（1月15日から1月21日）
- ・正月三が日（1月1日から1月3日）

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・システム）

普段からSNSを利用している方は、災害時には安否確認手段としても活用できます。

- ・ Twitter

<https://twitter.com>



QRコードはこちら

- ・ Facebook

<https://ja-jp.facebook.com/>



QRコードはこちら

- ・ Instagram

<https://www.instagram.com/>



QRコードはこちら

- ・ mixi

<https://mixi.jp/>



QRコードはこちら

常陸大宮市空き家バンク制度を ご存じですか？

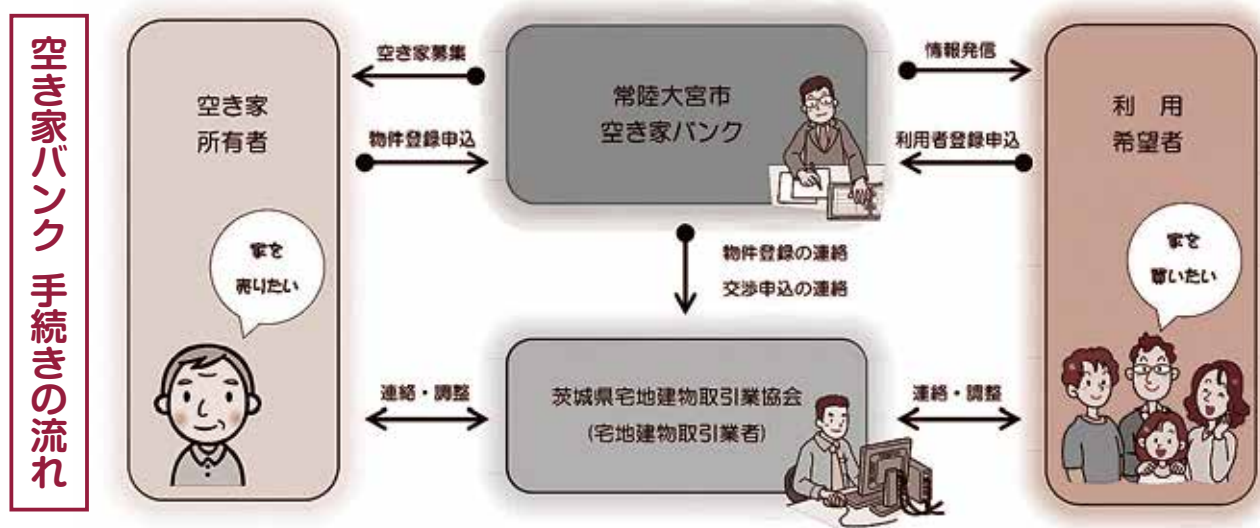


常陸大宮市内で空き家を“貸したい・売りたい”とお考えの方、「空き家バンク」に空き家を登録しませんか？

●空き家バンクとは？

市内の空き家を有効活用し、定住の促進及び交流人口の拡大による地域の活性化を図るために、常陸大宮市空き家バンク制度を実施しています。

空き家バンクとは、市内に空き家をお持ちの方が売却・賃借を希望する物件の情報を常陸大宮市に登録し、空き家の購入・賃借を希望する方へ情報提供する制度です。所有する空き家の売却・賃貸をご検討されている方は、是非ご相談ください。



●登録できる空き家とは？

以下のすべての要件を満たすものとします。

1. 所有者が売却または賃貸を希望するものであること。
2. 相続が完了し、登記された物件であり、現況と一致するものであること。
3. 老朽化等による大規模な補修等を必要としないものであること。
4. 当該空き家等の所有者が暴力団員またはそれと密接な関係を有している者でないこと。
5. 市税等を滞納していないこと。

※賃貸または販売を目的として建築されたものは登録できません。

●常陸大宮市空き家改修補助金をご活用ください

空き家バンク制度により空き家を購入していただきますと、改修に要する経費を補助します。

補助率：1/2以内（補助金上限額 50万円）

■問い合わせ■

都市計画課 住宅・営繕グループ ☎52 - 1111（内線254・255）

9月は「茨城県認知症を知る月間」です

毎年9月21日の「世界アルツハイマーデー」にあわせて、県では市町村とタイアップした広報啓発活動を実施しています。県では9月を「茨城県認知症を知る月間」とし認知症の早期発見や、認知症予防の取り組みを推進しています。

認知症は脳の病気

認知症とは、脳や身体の病気などが原因で、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることにより記憶力や判断力などに障害が起こり、日常生活に支障がある状態のことをいいます。認知症は高齢者だけでなく、若年性認知症もあり、誰にでも起こりうる脳の病気です。



“加齢に伴うもの忘れ”と“認知症によるもの忘れ”の違い

「人の名前が出てこない」「物の置き場所を忘れる」といったもの忘れを誰もが経験します。例えば、昨日の朝食のメニューを思い出せないことはよくありますが、認知症になると朝食を食べたこと自体を忘れ、「朝食を食べていない」と言うことがあります。

加齢に伴うもの忘れ

もの忘れの自覚はある
ご飯のメニューなど体験の一部を忘れる
判断力の低下は見られない
時間や場所、人との関係などは分かる

⇔
⇔
⇔
⇔

認知症によるもの忘れ

もの忘れの自覚は無い
ご飯を食べたことなど体験したこと自体を忘れる
判断力が低下する
時間や場所、人との関係が分からなくなる

多くの病気と同じように、認知症も早期の発見と早期の治療が大切です

認知症の前段階であるMCI（軽度認知障害）の状態であれば、正常な状態に戻ることもあります。

早期に発見することで、本人も家族も認知症に対する心構えができます。専門医にかかることに抵抗がある場合は、かかりつけ医へ相談してみましょう。



志村大宮病院 認知症疾患医療センター

診察日：月曜～金曜 第4土曜日（予約制）
電話受付時間：9時～17時
☎58-8020
※電話予約をしてから受診してください。

常陸大宮済生会病院 もの忘れ外来

診察日：水曜午前中（予約制）
電話受付時間：13時～17時
☎52-5151
※電話予約をしてから受診してください。

認知症予防のために行いたい3つのこと

- ① 1日30分以上の身体を動かす運動や体操をしましょう
例：散歩（三密にならない場所で）
- ② 自分の好きな、楽しいことを行うことを日課にしましょう
例：本を読む、絵を描く、日記を書くなど
- ③ 家族や友人との会話を楽しみましょう
（直接話す際はソーシャルディスタンスを保って、あるいはネットや電話を使って）
※一般社団法人日本認知症予防学会 「新型コロナウイルス拡散に対する日本認知症予防学会からの提言」より



認知症予防カフェ・家族のつどいカフェ

認知症の方やその家族、地域の方などがお茶を飲みながら交流し、認知症予防に効果的な頭と体を使った運動や介護や医療の専門相談ができます。

【認知症予防カフェ】

10時～11時30分 毎月第4土曜日
※事前予約が必要です ☎58-8020

【家族のつどいカフェ】

14時～16時 偶数月第1土曜日（事前予約なし）
場所 サポートセンター大宮内 カフェテリアエルマウ
※新型コロナウイルスの感染状況によって中止となる場合があります。



認知症初期集中支援チーム

市では、平成30年5月に、医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を志村大宮病院 認知症疾患医療センターに設置しました。このチームは、看護師、社会福祉士、作業療法士などの専門職が認知症の方や認知症の疑いがある方のご家庭を訪問し、ご本人やご家族の状況に合わせた今後の対応を一緒に考えます。

症状に応じ認知症専門医の協力を得て、以下の項目に該当する方には、チームが早期発見と早期治療に向けた支援を行います。

- ★認知症が疑われるので、受診させたいが、本人が受診を拒否している
- ★医療や介護サービスの利用が中断している
- ★適切な医療や介護サービスに結び付かない
- ★認知症の症状が強く、対応に困っている



認知症相談窓口

地域包括支援センターに認知症に関する研修を受けた「認知症地域支援推進員」を配置し、身近な場所で相談できる窓口を設置しています。認知症かなと心配な方、家族のことでお悩みの方はひとりで抱え込まずご相談ください。



■問い合わせ■

長寿福祉課 高齢者支援グループ ☎52 - 1111（内線173）
南部地域包括支援センター ☎53 - 6810
北部地域包括支援センター ☎57 - 3326



みんなで応援しよう！東京2020

研修生 (帰国)編

常陸大宮市の皆さん ありがとうございます！
パラオ共和国研修生2人が、新型コロナウイルスの影響拡大により急遽帰国！

パラオ共和国研修生のケネリーさんとシェナさんが、新型コロナウイルスの影響拡大により、予定より早く7月14日に日本を出国しました。

2人は、昨年9月に来日し、日本語学習や市の文化体験のほか、本市のホストタウン交流事業のサポートをするともにイベント等を通して、市内外の皆さんと積極的な交流をしてきました。また、彼ら研修生の活動は新聞やテレビなどに数多く取り上げられ、本市を広くPRしてくれました。これらの活動実績に対し、7月10日に開催された送別セレモニーでは鈴木市長から感謝状が授与され、シェナさんに「常陸大宮国際交流大使」が委嘱されました(ケネリーさんは前回研修終了時委嘱済)。コロナ禍による研修の2ヶ月短縮は、2人にとって心残りとなりましたが、帰国後もパラオと常陸大宮市をつなぐ友好の懸け橋として活躍されることが期待されています。



シェナ・セゲバオさん

「常陸大宮市の皆さん、10ヶ月間大変お世話になりました。オリンピックが来年に延期となったことはとても残念です。私は、常陸大宮市で見た景色や経験したことを絶対に忘れません。パラオに帰りますが、パラオの人たちにホストタウン常陸大宮の魅力を私ができる方法で伝え、そして、来年もう一度、この常陸大宮市に戻ってきて、皆さんと一緒にパラオ選手を応援したいです。Kabong(ガーボン) Palau & Hitachiomiya! ※Kabongはパラオ語で「がんばれ」の意味です。」



▲研修生から最後のあいさつ(市役所正面玄関前)



ケネリー・レケメルさん

「今回で2回目の研修となりましたが、更に多くの体験や勉強をさせていただき本当に感謝しています。私は、市内で皆さんに会うと「ケネリー！」と気軽に声を掛けてくれたことがとてもうれしかったです。この研修で得た知識と経験を今後のホストタウン交流事業に活かし、パラオと常陸大宮市の橋渡し役になりたいです。本当にありがとうございました！Sulang(スーラン)※パラオ語でありがとうの意味です。」



▲鈴木市長から感謝状を受ける研修生
(7月10日送別セレモニーの際)

7月14日に出国後、7月31日に無事、パラオに帰国しました。

オリンピック・パラリンピック競技大会



本多美月主事（元JICA海外協力隊：パラオ陸上チームコーチ）が
小瀬高等学校生徒に国際理解や挑戦する大切さを伝える！

昨年9月から、本市東京オリパラ推進室に勤務する本多美月主事（元JICA海外協力隊：パラオ陸上チームコーチ）が、「パラオ共和国での2年間」と題し、小瀬高等学校生徒1学年25名に国際理解や国際的な視野を広げることを目的に授業を行いました。「スポーツがとにかく好き！」という自己紹介の後、「自分が今いる世界があたり前ではなく、スポーツで世の中を元気にしたい。そして、日本で開催される東京オリンピックに携わりたい！という気持ちで自分を奮い立たせ踏み出すことができた」とJICA海外協力隊に応募した動機を話しました。また、現地でのホストファミリーとの生活のほか、パラオ陸上チームのコーチとして活動した取組等を、熱意あふれる言葉で生徒に伝えました。



▲パラオの2年間について語る本多主事(右端)



▲真剣に聴き入る小瀬高等学校生徒の皆さん

授業の中では、新型コロナウイルスの影響拡大で急遽帰国となったパラオ共和国研修生のケネリーさんとシェナさんが動画（録画）で出演し、パラオの高校生活や放課後の過ごし方等を英語で紹介したほか、一時隔離滞在中のゲアムでのホテル内の様子を生徒に説明しました。

グループ討議では「発展途上国と聞いてどう思うか」をテーマに話し合い、生徒からの「治安が悪い」等のマイナスイメージの意見に対し本多主事からは、「世界の国・人がそれぞれの価値観でプライド（誇り）を持っているからこそお互いを尊重すべきであり、実際に体験して初めて感じるものがたくさんあった」と語りました。最後に、2年間の協力隊経験から得た「一歩踏み出す勇気を持って、いろいろなことにチャレンジすること」「原動力となる自分の好きなことを大切にすること」を伝えるとともに、「ホストタウン交流をみんなで盛り上げていきましょう！」と交流事業への参加を呼びかけ、授業を締めくくりました。

授業を終えた生徒からは、「本多さんや研修生の話を聴いてパラオをより身近に感じ、英語を勉強し覚えて、人の温かさを感じる国のパラオにいつか行ってみたい」「スポーツが好きなので、世界の国々にスポーツを伝える職業につきたい」との前向きな感想があり、本市のホストタウンの取組への理解促進につながりました。



▲パラオの高校生活について説明するシェナさん(左)とケネリーさん(右)

7/2

茨城県農業三士の認定

7月2日に県総合福祉会館で、県農業振興のけん引役となる農業三士（農業経営士、女性農業士、青年農業士）の認定・退任式が開催されました。

本市からは、西塩子でなす等の生産・販売に取り組む大貫寛一さんが「青年農業士」を退任すると同時に「農業経営士」の認定を受けました。

大貫さんは、なす部会の研修受け入れ農家として新規生産者の育成にも貢献されており、今後も地域農業のリーダーとして更に活躍されることが期待されます。



▲(右) 大貫 寛一さん

7/3

コロナ禍の中で活動する消防吏員を 鈴木市長が激励！

7月3日、鈴木市長が就任して初めての市長特別点検を実施しました。市長特別点検とは、消防吏員の姿勢、服装を鈴木市長が点検することで、厳正な規律を保持し、消防吏員の品位の向上を図り、指揮統率の取れた組織体制を確保し、災害活動に万全を期すために行われるものです。火災や救急などの災害に対して、万全を期して業務を遂行していきます。



▲特別点検の様子

7/19

常陸大宮大使 大森 雅俊さんのバイクレッスン開催！

市内の旧松沢小学校のグラウンドを活用して、ダートトラックのプロライダー、そして常陸大宮大使の大森雅俊さんを講師に、バイクレッスンが開催されました。

大人はもちろん、子供も楽しめるスポーツのダートトラック。この日も、梅雨の晴れ間の中、参加者最年少の中学生から大人まで幅広い年齢層の方々が、ダートトラックを楽しんでいました。

また大森雅俊さんの協力のもと、走行を体感できる動画も撮影しました。本市のインスタグラムで動画配信中です。

ぜひプロの走りを体感してみてください。

※ダートトラックとは、2輪のモータースポーツ競技。未舗装の周回路（トラック）上を反時計回りで周回し、その速さを競うレース。



▲熱心に話を聞く参加者の皆さん



▲砂が舞い上がり、迫力があります

7/5

パラオ共和国研修生最後のイベント 「七夕フェス」でホストタウンPR!

パラオ共和国研修生のケネリーさんとシェナさんが、道の駅常陸大宮～かわプラザ～「七夕フェス」で研修最後となるホストタウンPRイベントに参加しました。研修生2人は浴衣と甚平を着て、来場した皆さんにオリジナルパラオステッカーの配布や本市とパラオのつながりについて紹介をしました。パラオをイメージした短冊には、青色はイルカ、黄色はクラゲをかたどり、パラオに寄せた願い事約200枚が竹に飾られました。

ケネリーさんとシェナさんは、未来に向けた交流の一翼を担う気持ちと共に「パラオと日本、そして、常陸大宮市の友情が永遠に続くように!」との願いを短冊に込めました。



▲「七夕フェス」でPRをするパラオ共和国研修生

7/26

消防団車両(小型動力ポンプ付積載車) 貸与式

本市の消防団は、全18分団65部及び女性分団で組織され、それぞれの地区で消防車両を用いて、火災発生時の初期段階での消火活動、延焼拡大防止、夜警による火災防止啓発など、地域防災の中核的存在として活動しています。

経年劣化した消防車両を計画的かつ定期的に更新し、災害発生に備えることを目的に、今回第3分団第3部(富岡)、第4分団第2部(根本)、第9分団第1部(山方照田)に小型動力ポンプ付積載車が貸与されました。



▲車両装備の説明を受ける消防団員の皆さん

8/8

道の駅かわプラザで「久慈川たけのこメンマ」販売決定!

久慈川流域の荒廃した竹林を、5年前から整備し続けてきた久慈岡共有竹林組合の皆さん。竹林整備とともに、刈り取ったたけのこを使って、久慈岡産たけのこ加工品の商品化を目指して、活動してきました。

今回、そのたけのこ(真竹)を道の駅常陸大宮かわプラザと連携して商品開発し、「久慈川たけのこメンマ」として8月8日から販売することが決定しました。



▲左から 鈴木 理司駅長補佐、高安 敏明区長(久慈岡地区) 高安 千里組合長、大山 博文駅長

竹林整備の中心となって活動している久慈岡地区高安 敏明区長は、「5年間の時間を経て、やっと商品化することができた。竹林整備とともに、常陸大宮市産の安心・安全なメンマをたくさんの方に提供していきたい。」と話しました。

「久慈川たけのこメンマ」は道の駅かわプラザにて販売中です。ぜひご賞味ください。



▲歯ごたえのあるおいしいメンマが完成!

ふるさと応援寄附金 ご支援ありがとうございました

ふるさと応援寄附制度は、ふるさとを想い応援いただいた寄附金を市が実施する事業の財源として市政に反映させ、「ふるさとづくり」を推進していくことを目的とする制度です。

いただいた寄附金は、次の目的に沿った事業を進めるため、大切に活用していきます。

★令和元年度寄附金額 92,869,600円 (7,352件) ★

使い道別内訳

- ①未来を担う人づくり支援 44,134,000円
- ②自然環境保全支援 12,598,000円
- ③地場産業支援 9,546,000円
- ④芸術文化・スポーツ振興支援 2,547,000円
- ⑤その他の事業（市長が必要と認めるもの） 24,044,600円

※寄附件数1件に対し、複数の使い道を指定することができます。

★令和元年東日本台風に係る災害支援寄附

（寄附受入期間：令和元年10月14日から令和2年3月31日まで）

寄附金額 8,501,000円 (715件) ★

住家被害を受けた被災者支援に活用させていただきました。

★ふるさと応援寄附のご案内★

市外からふるさと応援寄附をしていただいた方々に、感謝の気持ちを込めて市の特産品を返礼品としてお送りしています。

肉・酒類、加工品をはじめ、和紙・陶芸・漆器などの伝統工芸品、さらにはカヌー体験など、市の魅力を伝える自慢の返礼品となっています。

寄附は、ふるさとチョイスや楽天ふるさと納税、市のホームページでも申込ができますので、市外在住のお知り合いの方へ、ぜひ「常陸大宮市ふるさと応援寄附」をご紹介ください。



■問い合わせ■ 地域創生課 地域づくり推進グループ ☎52-1111（内線383）

地域おこし協力隊

がゆく

地域おこし協力隊の古澤です。

最近、8月下旬に開催予定の「SNS講座」の準備に追われています。この企画は読んで字のごとく、SNSの使い方を対象地域の住民の方に指導するというものです。今回の対象区域は旧山方町にあたる北富田と諸沢です。

それではなぜ今更、SNSを教えようとしているのか。理由は2つ。1つ目は、魅力的な人やコンテンツにあふれた北富田・諸沢の情報発信を、『任期中に限りがある』協力隊ではなく、『もっと長期的』に地域住民によって行われる必要性を感じたからです。そして2つ目は、魅力ある人やコンテンツがうまく市内・外に向けて発信できていない現状があるためです。

あなたは北富田・諸沢の魅力をどれくらい知っていますか。諸沢に「牛」や「馬」が放牧されていること、「立体の絵画」をつくれるデコパーシユ講座があること。また、「くずつたを使用したハンテン」や「竹踏み」、一人で家や窯をつくってしまう人がいること。これらの魅力を市内のどれだけの人がご存知でしょうか。おそらくほとんどの方は知らないのではないのでしょうか。そして、市内の人でさえ知らない情報を市外の人を知ることは難しいと思います。だから僕は、「SNS講座」をする必要に駆られたのです。



本年度の新規採用職員を紹介します



農林振興課の木村健宏です。私は主に道の駅や物産センターに関する業務をしています。来場者が快適に利用できるような施設整備をするとともにイベント情報の発信をすることで利用者が増えるように頑張ります。よろしくお願いします。



農林振興課の鈴木叶恵です。伐採届の受付や、木造住宅建設助成金など、主に林業関係の業務を担当しています。自身の業務について、また常陸大宮市についてよく学び、地域の魅力を多く知る職員を目指します。



商工観光課の木村隆哉です。主な業務は、市内外のイベントに参加して市のPR活動とひたまる関係です。現在はイベントでPR活動は行えていませんが、イベントが再開した時には、常陸大宮市の魅力を県内外に発信していきたいです。また、現在ひたまるが、ゆるキャラG.Pに参加中です。9月25日まで行っていますので投票よろしくお願いします。



広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中！

【広報紙】半枠(45mm×85mm)、全枠(45mm×175mm)

【ホームページ】バナー広告

* 詳しくはホームページをご覧くださいか、本庁秘書
広聴課(☎52-1111 内線307、312)まで
お問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

かがやきだより vol.21

今回のテーマ「肥満につながる生活習慣」について

運動等で消費するエネルギーよりも、食事で摂取するエネルギーが多いと、余った分は脂肪として身体に蓄えられます。

どのような生活習慣が肥満につながるのか、一緒に考えていきましょう。



■ 欠食・まとめ食い・早食い

欠食すると、次の食事でたくさん食べたり、身体が飢えに備えて脂肪を蓄えやすくなったりします。また、早食いは、満腹を感じるまでに時間がかかるので、ついついたくさん食べてしまいます。



■ 飲み過ぎ

アルコールには食欲を増進させる作用があるので、食事やおつまみを食べ過ぎてしまうこともあります。また、ビール500ml、日本酒1合は、ご飯茶碗1杯のエネルギーに相当するので、お酒の飲み過ぎはエネルギーの摂り過ぎにつながります。



■ 間食・夜食

菓子類や甘い飲み物等を摂り過ぎると、脂肪が蓄積します。また、夜9時以降に食べた物は、脂肪として身体に蓄えられるので、夜間に食べないことが脂肪の蓄積予防になります。



■ 運動不足

買い物や病院等に出かける時、いつも出入口に近い駐車場に停めていませんか？歩く機会を増やすと、消費エネルギーを増やすことができます。



肥満を改善、適正体重を維持するためには、食事と運動のバランスが大切です。次回はバランス食について掲載します。

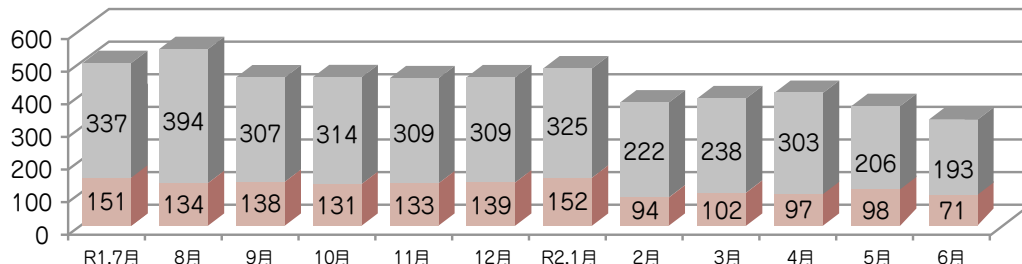
保健師、管理栄養士が随時健康相談を受け付けています。ご希望の方は事前にお電話ください。

■問い合わせ■ 総合保健福祉センター「かがやき」内 健康推進課 ☎54-7121

※救急受け入れの人数を月別に表しています。(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

■ 救急車以外
■ 救急車



記憶画にみる感染症

～はしかとパラチフス～

新型コロナウイルスの感染拡大に際し、感染症を対象とした歴史研究や史資料が改めて注目されています。諸沢地区出身の会沢忠（1904～1986）は、人生経験を回想して絵と文章に記録した記憶画を制作しました。今回はその中から感染症を描いた作品をご紹介します。

会沢は1915年頃、10歳の時に「はしか」にかかりました（図1）。現在のように麻疹ワクチンが普及する前は、はしかは乳幼児の死亡の重要な原因のひとつでしたが、普通に見られる病気のため、軽視されることもありました（山内一也『はしかの脅威と驚異』岩波書店、2017）。会沢の父親も「はしかに薬など必要ない」と言ったため、母は旅僧に頼んで祈祷してもらい、子どもの枕元で回復を祈りました。1928年には勤務先の日立鉾山でパラチフスにかかっています（図2）。会沢は駕籠に横たえられ、白衣にマスク、ゲートル履きの男性2人に伝染病治療院へ運ばれています。後ろには日立鉾山の煙突、工場と住宅が見えます。当時の日立市域は農業色の濃い茨城県の中で、日立鉾山や日立製作所など近代産業が発展する町として、県内他市町村や他府県の労働者が移入し人口が急増しました。一方で都市整備が追いつかず、赤痢や結核、腸チフス・パラチフスなど、感染症が多発しました（鉾山の歴史を記録す



▲図1：はしかにかかって祈祷を受ける



清水ゆかり氏

近現代部会専門調査員
(農研機構研究員)

る市民の会編『鉾山と市民』日立市、1988）。会沢の記憶画からは、公衆衛生や医学が現在のように発達する以前には、感染症が身近なものであったことが読み取れます。

会沢は記憶画の制作を通して、現代社会を築くまでの地域社会の歴史を次世代へ伝えようとしてきました。小冊子『古稀の素人が画く明治、大正、昭和の思い出』（自費出版、1974）と色紙96枚（1983・1984制作、常陸大宮市歴史民俗資料館山方館蔵）には、個人史に留まらず、明治～昭和の農業・農村や就業経験、戦後の社会変化などが絵と文章で記録されています。

常陸大宮市の「記憶遺産」と呼ぶべき貴重な資料です。『常陸大宮市史研究』第3号で詳しくご紹介しましたので、どうぞご覧ください。



▲図2：パラチフスに感染し伝染病治療院へ

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）

光回線サービスの勧誘にご注意！

2015年2月より、NTT東日本とNTT西日本（以下「NTT東西」）が光回線サービスの卸売りを開始しました。卸売りを受けた様々な事業者（以下「光コラボ事業者」）が提供する光回線サービスをコラボ光といい、プロバイダーや携帯電話等の様々なサービスと組み合わせて販売されています。



相談事例

- 契約先のプラン変更だと思ったら、別事業者との契約になっていた。
- 解約したいが、連絡先がわからない。
- 光回線の変更が必要であるかのような勧誘により契約してしまった。
- 料金が安くなるといわれて契約したら、説明されていないオプションが契約になっており、高額な請求を受けた。



問題点

- NTT東西と誤認させ、別事業者との契約になることを認識させていない。
- 変更しなければならないとの誤った説明で契約させている。
- 勧誘時に契約に関する料金が正しく説明されていない。



アドバイス

コラボ光はNTT東西との契約ではなく、光コラボレーション事業者との新たな契約であることを理解しましょう。

☆現在の契約内容を確認しておきましょう。

☆勧誘された事業者名やサービス名、連絡先等、コラボ光の契約内容を確認しましょう。

☆現在の契約内容とコラボ光の契約内容を比べた上で検討しましょう。

☆契約後にキャンセル・解約したいと思った場合は、すぐに光コラボレーション事業者に出しましょう。

※コラボ光は電気通信事業法の「初期契約解除制度」の対象です。契約書面が届いた日を初日とした8日目までの間の契約解除を行う旨の書面を出すことで中途解約の違約金の負担なく契約解除が可能です。

■問い合わせ■

茨城県消費生活センター

☎ 029 - 225 - 6445

常陸大宮市消費生活センター

☎ 0295 - 52 - 2185（直通）（本庁商工観光課内）

※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

長沢地区の線刻不動明王像

令和2年3月26日、常陸大宮市長沢（字梅木倉）で線刻で描かれた不動明王像が発見されました。不動明王の脇に彫られた銘文には、康正元年（1455）の年号が刻まれていることから、室町時代中期に製作されたものと考えられます。中世に遡る石造物が確認される事例はたいへん珍しく、常陸大宮市の歴史的にも重要であるため、この場を借りて紹介いたします。

古記録と発見時のようす

不動明王像は、枇杷川上流に位置する滝（不動滝）の横にある洞穴に祀られており、康正元年と弘化4年（1847）に作られた2体の不動明王像が安置されていました。長沢地区の不動明王像にまつわる話では、山王神社の祭礼で神輿を滝の近くまで担いだ後、像を滝から運んで神輿の中に納めたと伝わっており、長い間人々の信仰の対象となっていたことが伺えます。しかし、旧山方町時代に実施した石造物調査では、弘化4年の像しか確認されておらず、また地元の人でも存在を知らなかったため、康正元年の像は長らく未発見の状態であったと考えられます。

そんな不動明王像ですが、実は江戸時代の古記録にその存在を確認することができます。文化4年（1807）に成立した『水府誌料』には、「山方村梅ノ木蔵坪（中略）ニ瀧有り、其傍ニ不動ノ碑御座候、于時康正元年三月日、且那梅木蔵介（助）三郎と御座候よし…」と書かれており、像の所在地や銘文が詳細に記されていました。これをもとに現地を訪れ、付近を調べたところ、弘化4年の像の足下に横たわる石に刻まれた不動明王の姿を確認することができました。



▲長沢地区（字梅木倉）の不動滝 ※右の洞穴に像2体が所在



▲発見時のようす ※下に横たわる石が康正元年の像

不動明王像について

今回発見された不動明王像は、固い岩に線刻で描かれており、不動明王の特徴である右手に宝剣、左手に絹索を持つ姿が確認できます。不動明王は、大日如来の化身とされており、大日如来を本尊とする密教や、山岳信仰と密教・陰陽道などが融合した修験道と深い関連があると言われていています。今回のように、不動明王像が滝の近くで確認できるのも、こうした信仰の修行場として滝が利用されていたことによるのでしょうか。

また、銘文には記録の通り「且那梅木蔵助三郎」と書かれていました。このことから、像の造立の施主となるほどの有力者が当時の長沢周辺にいたと推測できます。記録が残っていないため、当時の状況を知ることが非常に困難ですが、こうした断片的な情報から、地域の歴史を可能な限り拾い集めていくことが重要と考えています。

線刻で描かれた中世の不動明王像は、茨城県北はおろか茨城県内でもほとんど事例がない貴重なものです。このように、各地域に眠っている文化財はまだまだ存在すると思われます。今後も調査を続けて参りますので、情報があればお寄せください。



▲石に刻まれた不動明王（康正元年）（左）、とその拓本（右）

※2体の不動明王像は現在、歴史民俗資料館大宮館に寄託されています。（康正元年の像は展示予定）



消防団員募集中



消防団員とは？

消防団員は、非常勤の公務員として各自の職業に就きながら、災害時などに活動します。

どのような活動をしているの？

消火活動や救助活動、台風などの風水害時には河川の水位警戒や土のう積みなど幅広く活動します。平常時は、訓練や応急手当の普及指導、市民への防火指導や広報活動など防災力を高める重要な役割を果たしています。

いつ訓練しているの？

週末や平日の仕事終わりに集まって訓練しています。

仕事していても大丈夫？

消防団員は、各自の職業に就きながら、災害時に活動したり、平常時は訓練や広報活動を行っています。

女性も活躍できるの？

現在、全国で約2万人以上の女性消防団が活躍しています。当市でも17名の女性消防団員が救急講習や広報活動などで活躍しています。



入団について



資格：年齢18歳以上で市内に居住または勤務している方。（男女問わず）

報酬等：年間一定額の団員報酬のほか、災害出動などの手当が支給されます。また、5年以上在籍された方は、退団の際に退職報償金も支給されます。

公務災害補償制度：消防団活動中のケガ等に対して公務災害補償制度があります。

消防団福祉共済制度：公務を問わず、ケガ・疾病により一定期間入院した場合の入院見舞金や、死亡・重度障害の状態になった場合の一時救済金の支給などがあります。

表彰制度：団員としての功績に対して、様々な表彰制度があります。

機能別消防団：消防団員・消防職員のOBの方が入団し、災害活動のみ従事します。

入団を希望される方、詳しく知りたい方はこちらまで

常陸大宮市消防本部総務課 地域消防G ☎53-1152



ルールを守って楽しい花火

きれいで楽しい花火も、正しい遊び方をしないと火災や大やけどなどの事故が発生することがあります。特に、子供のみで花火することは絶対に避けて、大人と一緒に使用方法やマナーを守って安全に楽しみましょう。



花火による事故を防ぎましょう

- ・ 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
- ・ 子供たちだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。
- ・ 正しい位置に、正しい方法で点火しましょう。
- ・ 水の入ったバケツを用意し、残り火を完全に消しましょう。
- ・ 手持ちの筒もの花火は、手の位置に注意しましょう。
- ・ 風の強い日は、花火遊びはやめましょう。
- ・ 花火を人に向けてはいけません。
- ・ 燃えやすいもののある場所では使用してはいけません。
- ・ 途中で火が消えても、花火の筒の先に顔や手を出してはいけません。
- ・ たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。
- ・ 花火をほぐしたり、ポケットに入れたりしてはいけません。



子供の火遊びにも注意

子供の火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため発見が遅れて火災が大きくなることがあります。絶対に火遊びはやめましょう。

- ・ マッチやライターを子供の手の届くところにはおかないようにしましょう。
- ・ 現在、販売されている使い捨てライターは、小さな子供が着火できないようにチャイルドレジスタンス機能が備わっています。小さな子供がいる家庭では、新しい使い捨てライターに買い換えて、古いライターは処分しましょう。
- ・ 子供だけで火を取り扱わせないようにしましょう。
- ・ 火災の恐ろしさ、火の取り扱い方法について、きちんと教えましょう。



■問い合わせ■ 消防本部 ☎54 - 0119

御前山ビオトープ周辺の植物等

山野の湿地に生える多年草です。花は植物学的には大変興味のあるつくりをしています。おしべには、長・短があり、めしべとの長さの関係で3つのタイプの花ができます。そのことによって自家受粉を防ぐ仕組みになっているそうです。名前はお盆に仏壇に供えた供物や身体に禊（みそぎ：清めること）をするとき、ミソハギが使われるためミソギハギが転じてミソハギになったとする説があります。



(ミソハギ科)

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

季節のフォトギャラリー

市内で撮影した季節の風景をご紹介します



▲木漏れ日が降り注ぐ三浦杉（小田野地域）



◀辰ノ口展望台からの壮大な景色



▲咲き誇る蓮の花（小祝地域）



常陸大宮市の人口

(8月1日現在・推定常住者)

総人口 39,209人 世帯数 16,011世帯
(男 19,362人 女 19,847人)

広報 常陸大宮 8月 第191号

発行日 令和2年8月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

U R L <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

